

組織に力を集中すると共に、組織部の重要性は益々増大する。現在までの組織は多く偶然性によつて出来た。この計画の上に行なわれ、専門組織部が常に存在してその活動を計り、各地方評議会組織部、各組合組織部の活動を總本部組織部の指揮下に統一すること。

二、未組織労働者の組織運動の問題は眼下の急務に述べたる如く未組織労働者組織の問題は眼下の急務である。我々は十五年度拡大中央委員会の決定に基づき、左の方針によつてこれに力を集中すること。

A、組織運動の統一の常設的活動。

B、共同団体への活用、工場を定會運動の指導、日本生活に關係深き標語の下に大衆の利益を代表し

C、日米生活に關係深き標語の下に大衆の利益を代表し

D、日米生活に關係深き標語の下に大衆の利益を代表し

E、日米生活に關係深き標語の下に大衆の利益を代表し

未組織労働者への共感と懇切なる指導である。かくの如くして大衆の信任を獲得することは戦間的労働運動の準備である。

三、工場委員会運動

工場委員会運動は、過去の経験によつて極めて有効であることが示された。その任務は、一般には労働者の生活の擁護、解雇防止、労働条件の維持向上、他工場との交渉、戦線の建設である。工場委員会が工場労働者の組織及び協同化、工場の特徴となる任務状態によつて特殊な任務は次の如く異なる。

A、工場労働者が二つ以上の組合員から成る場合は、工場委員会を各組合間の協同戦線の役目を持つ。

B、一工場に御用団体、共同戦線の役目を持つ。工場委員会が、これ等の団体と組合化する役目を持つ。

C、一工場が閉めつけられておる本場場合には工場委員会

は、實質上、労働者と共に戦線を築く。